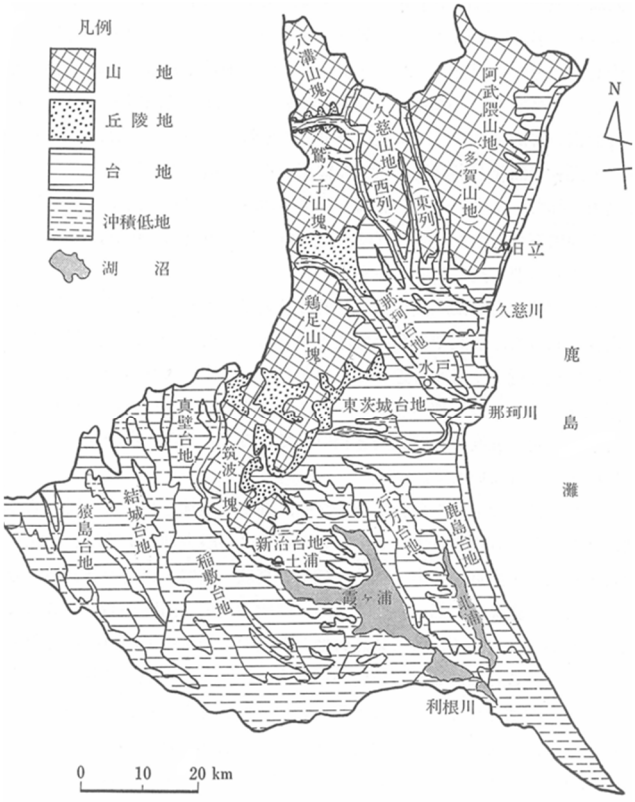
大洗町の地勢と気象



大洗町は、茨城県中央部の県央地域に位置する。北は水戸市とひたちなか市に、南は鉾田市に、西は茨城町に接している。町の東側は太平洋に面しており、町の北東部(ひたちなか市との境)を那珂川が流れている。那珂川は、栃木県と福島県の県境に位置する那須岳を水源とする一級河川(国管理)で、ひたちなか市と大洗町の境を経て太平洋に注ぐ。町の西側は涸沼で、涸沼から町の北側(水戸市との境)を流れる涸沼川を経て那珂川と合流する。

地形は、町の大半が沖積低地で、西部が台地(鹿島台地)である。

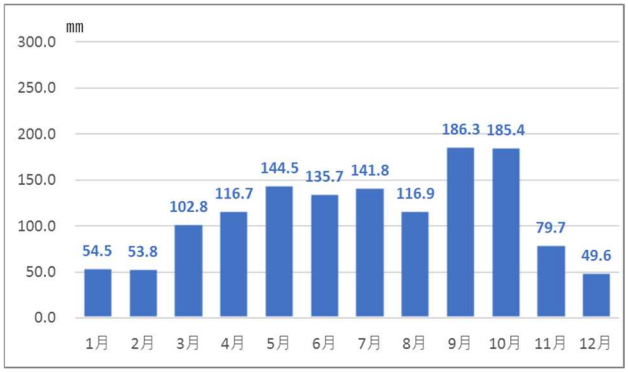


茨城県の地形区分(出典:茨城県　地学のガイド;1977, コロナ社)

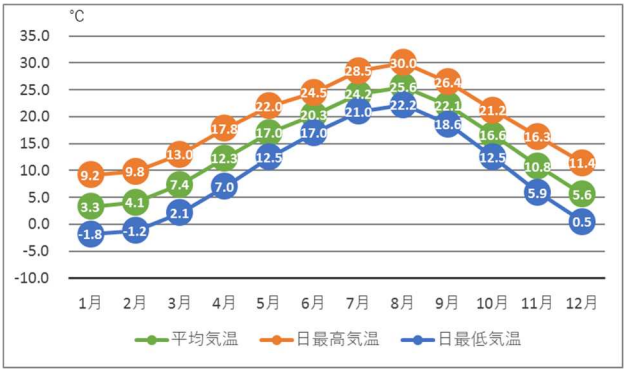
気候は、太平洋側気候で、東部沿岸地域では海岸気候の特徴を併せ持つ。夏季は、太平洋高気圧から吹き出す南よりの風の影響で高温多湿となり雨も降りやすい。冬季は、乾いた北西の季節風が吹き、晴天の日が多く、降雪は少ない。沿岸地域では、黒潮等の海洋の影響を受け、気温変化が小さく温暖で湿度が高い。また、海岸では強い風が吹きやすい。

降水は、冬は少なく、春から夏にかけては梅雨前線の影響などで徐々に多くなり、秋は秋雨前線や台風の影響などで更に突出して多くなる。年降水量の平年値(水戸)は 1367.7 ㎜である。

気温は、夏に 35° C 以上の猛暑、冬に −10° C 以下となることもあるが、平年の気温(水戸)は、夏季の日最高気温が 30.0℃、冬季の日最低気温が −1.8℃で、年平均気温は 14.1℃である。



水戸の降水(月ごとの平年値)　1991 年～2020 年の統計値



水戸の気温(月ごとの平年値)　1991 年～2020 年の統計値

水戸の平年値・極値はこちらから

https://www.data.jma.go.jp/stats/etrn/index.php?prec_no=40&block_no=47629&year=&month=&day=&view=